

THE NARASHINO CHUO ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

習志野中央ロータリークラブ週報

会長 小菅 和彦
幹事 尾崎 共紘

例会日：木曜日 12時30分
例会会場：習志野商工会議所会館 3F
事務局：千葉県習志野市津田沼 4-11-14

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ 国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック



第1759回 2025年 1月16日例会

司会：高山貴子会員 週報：河手正直会員

- ◆ 点鐘 <小菅和彦会長>
- ◆ 国歌斉唱 「君が代」
- ◆ ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテスト <荒木和幸会員>
- ◆ お客様紹介

習志野市市長	宮本泰介様
習志野市児童育成課長	渡辺雅史様
習志野市児童育成課	上野智様
習志野市秘書課長	篠宮淳一様
習志野市広報課	中村覚様
元ローターアクト	椿拓也様
習志野中央 RAC 会長	仲村拓海さん
米山記念奨学生	リュウ センチさん

- ◆ 会長挨拶 <小菅和彦会長>

皆さんこんにちは。

宮本市長 お忙しい中お越しいただきありがとうございます。本日は卓話をよろしくお願いします。

習志野市児童育成課の渡辺さん、上野さん、習志野市秘書課の篠宮さん、習志野市広報課の中村さん、米山奨学生の劉センチさん、アクトの椿さん、仲村君、ようこそいらっしゃいました。

本日1月16日は「禁酒」の日だそうです。アメリカで禁酒法が実施された日(1920)だそうです。ちなみに、この禁酒法のせいで、アル・カポネを始めとする酒の密売にかかわるギャングの出現多く発生し、逆効果を招いてしまう…こととなり、1933(昭和8)年には禁酒法自体が廃止されております。

先週の、習志野市賀詞交歓会では、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

その時の宮本市長の挨拶にありましたように、今年は昭和でいうとちょうど100年にあたり、また去年は習志野市市政70周年という、数字上、節目の良い覚えやすい年であります。

そして、明日1月17日は阪神淡路大震災からちょうど30年になるということです。

地震と言えば、最近のニュースで、災害のことが多く流れています。

- 南海トラフ巨大地震 30年以内発生確率「80%程度」に引き上げされたそうです
- 寒波や米ロサンゼルス火災など、化石燃料の影響が原因とされている地球温暖化
- また、インフルエンザや新型コロナなどのウイルス感染災害
- 戦争や殺人など、人的災害のニュースも多く流れています

混沌とした世の中になってきているこの時世です。私は、自己防衛と、あらゆる予防が重要なのではと考えています。

宮本市長もおっしゃっていました。「習志野市は災害の強い街として築き上げていく」と。是非そのような街にさせていただきたくよろしく願います。

ロータリーとしても、昨年7月に「環境」がロータリー重点分野に加わりました。今後は、この環境保護は、地球温暖化も踏まえ本当に真剣に取り組まなければいけない時期に来ていると思われまます。皆様も同意見でしょうか？

さて、先日は、フードドライブのご協力を呼びかけさせていただきました。「食品ロス」も環境にも悪い影響を与えてしまうと言われております。本日は、多くの会員から賞味期限間近の食品をお持ちいただきました、ありがとうございます。大事なことは、フードドライブ活動は、ずっと継続していかなければならないことだと思います。

フードドライブ活動も災害予防も、継続が大切であります。私自身の自戒も含めておりますが、皆様もどうぞお考えいただければと思います。

本日は、固い話ばかりでした。以上、会長挨拶とさせていただきます。



◆ 幹事報告 <尾崎共紘幹事>

1. 国際奉仕セミナー開催 1月18日(土)
千葉商工会議所 12時30分から
2. ハイライトよねやま
3. RID2790 ロータリーデー開催 3月9日(日)
ZOZO マリンスタジアム 12時から
4. 第48回 RYLA21 世紀リーダーシップセミナー
1泊2日研修 2月23日(日)~24日(月)
白子サンライズオーツカ
5. 会員増強・退会防止セミナー 3月19日(水)
TKP ガーデンシティ千葉 15時から
6. 風の便り Vol 10 NO 6

◆ 委員会報告

□ 親睦活動委員会 <井上大輔リーダー>

夜間移動例会について

1月23日(木) 18時30分から 池田屋にて
会費 4,000円

□ 伊東弘樹会員

奉仕プロジェクト統括委員長 鈴木壮一様

《フードドライブ2790》へのご協力をお願い

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて地区奉仕プロジェクト統括委員会の活動として、
フードロス問題に取り組み フードドライブ事業の
啓発活動を行います。是非、ご協力をお願い申し上げます。

1. フードドライブ

企業または家庭の中で、賞味期限が2ヶ月以上残っている食品を 会員企業で回収して頂き、フードバンクちばを通じて 千葉県全域の食品を緊急に必要な方に、無償で提供する事業です。

2. 実施時期

1月以降、各クラブにてフードコンテナ、段ボールを準備頂き、回収用 POP(編集可能)にて各クラブ会員皆様に募って頂きたいと思っております、集めた食品の送付又は回収をお近くの回収場所までお運びください。《チラシ裏面記載》

※2月の地区大会にもブースを設置する予定ですのでお持ちください

3. 食品回収の方法

各クラブで作製したフードコンテナを承諾頂いた会員様や地域企業様に配布し、社員・取引先・お客様にフードドライブの趣旨を理解して頂き、不要食品を回収する。

☆集まった食品は、

- ①チラシ裏面記載の回収場所に各クラブ様ご担当者様が届ける
- ②フードバンクちばに宅配便で送る
- ③各クラブご担当者様が回収して、フードバンクち

ばに届ける

④フードバンクちばへのサポート会員

フードバンクの活動を持続可能で拡大出来るよう、ロータリークラブ会員の企業で、フードバンクちばのサポート会員に入会して頂くようお願いする。

法人/個人会員

※上記実施にあたりご質問等ございましたら気軽に地区奉仕プロジェクト統括委員会へお問合せ下さい
担当 鈴木荘一 林善次

寄贈いただきたい食品

□ 穀類(お米、麺類、小麦等) □ 保存食品(缶詰、瓶詰め) □ 乾物(のり、豆類)

□ 調味料各種、食用油 □ インスタント食品、レトルト食品 □ 非常用備蓄食料品 □ ギフト商品(お歳暮、お中元等) □ 飲料(ジュース、コーヒー、お茶等)



◆ 米山記念奨学生へ奨学金の贈呈

リュウ センチさん



◆ 誕生日・結婚記念日のお祝い

会員誕生日	配偶者誕生日	結婚記念日
崎山征雄(3)	菅野若菜(9)	杉山慎(3)
山本美代子(17)	小菅喜利子(13)	崎山征雄(10)
庄司和正(28)	江藤美沙(13)	井本良三(17)
	川名華子(14)	松村洋平(29)
	杉山由美(18)	
	中島美枝(22)	
	高橋佐知子(27)	
	高橋美栄(29)	



会にあわせて多くの本やおもちゃをいただきました。誠にありがとうございます。また、津田沼小学校以外の児童会においてもクリスマス会の際におもちゃを披露したところ、児童も大変喜んでおりました。

本市全児童会(38児童会)に対する寄附につきましては、昨年度から5カ年に渡り実施していただけると伺っております。

子どもは社会の宝であり、未来をつくる希望です。安心して子どもが生まれ育ち、子育てのできる社会を実現することは、社会全体で取り組まなければならない最重要課題の一つであります。

この社会を実現するためには、行政だけでなく、地域、企業、団体の皆さんなど、市民の皆さんの御理解、御協力が必要不可欠であります。皆さんとの協働こそが、本市の子ども・子育て支援事業計画の理念である「子どもの健やかな成長をみんなのやさしさで支えるまち 習志野」の実現を可能にします。

今回いただいた寄附物品については、津田沼、鷺沼、秋津、香澄小学校の児童会に配置させていただきました。

今回の、寄附の御厚意に対し心から感謝申し上げますとともに本市放課後児童会において、有効活用させていただきます。



◆ ニコニコボックス

- 小菅会長 妻の誕生祝のお礼
- 宮本市長様よりニコニコを頂きました
- 中島会員 妻の誕生祝のお礼
- 井本会員 結婚記念日祝のお礼
- 崎山会員 誕生祝・結婚記念日祝のお礼
- 山本(美)会員 誕生祝のお礼
- 平澤会員 あけましておめでとうございます
- 平山会員

宮本市長、今日はありがとうございます

伊東会員

宮本市長、今日はありがとうございます

出初式ありがとうございました

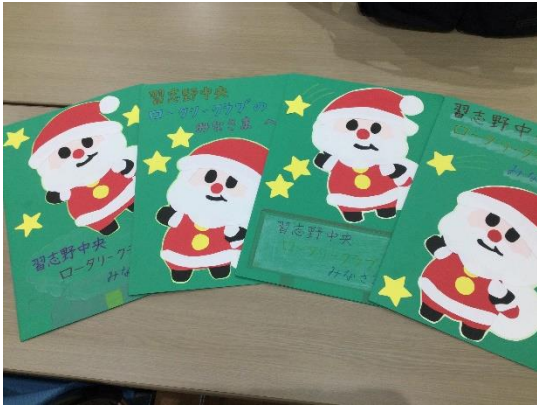
高橋(利)会員

ドリームベースボールに参加しました



◆ 習志野市長 宮本泰介様より感謝状贈呈

習志野中央ロータリークラブの皆さん、昨年度に引き続き多くの本やおもちゃの寄付をいただき、大変ありがとうございます。今年度は、昨年12月23日に津田沼小学校体育館にて、児童会のクリスマス



既に市制を敷いていた千葉市と船橋市に挟まれた習志野演習場を囲む町村（津田沼町・幕張町・犢橋村・大和田町・睦村・豊富村・二宮町）で合併し、「大習志野市」を建設する構想が当時の町長により進められました。おそらく当時、軍都として最新の設備や情報が集まり、その先も新たな投資が見込めるという観点からの、今で言う「新都心構想」だったのだと思います。しかし、第二次世界大戦の勃発によって実現には至りませんでした。もし、この構想が実現していたら面積は 144 km²で、今よりも 7 倍以上広い面積となっていました。

- そして終戦。日本は甚大なダメージを負う中、国民や行政のあり方など、政治全般にわたる大きな転換を求められ、新たな憲法の制定に基づき、各種法令が施行されました。この中心には「地方自治」があり、行政事務の効率化を求める法律が施行され、新たな町村合併の必要が出てきました。
- 一方、旧日本軍の施設が教育施設や生活インフラ施設などに転用され、一定の都市機能が確保されている中、初めての直接選挙によって就任した当時の町長、後に、初代習志野市長となる白鳥義三郎氏は、前津田沼町長の吉野信氏が果たせなかった「合併によって市になる」ことを決めました。
- 近隣町村との協議、そして千葉県の仲裁などにより、昭和 19 年 1954 年 8 月 1 日に、まず津田沼町という町名を「習志野町」に変更、次に千葉市となった幕張町の一部を習志野町に編入し、人工要件が満たされた状態で、市に昇格するという申請を同日付で行い、「習志野市」が誕生しました。この時は埋め立て地がなかったことなどから、面積は約 17.66 km²、大習志野市構想の 10 分の 1 程度でした。
- 一方、戦後暫くの間、演習場は、当時の食糧難に対応するために農地として、開墾を条件に希望者に解放され、その後、国の高度経済成長に伴い、工場も誘致されたことから東習志野には多くの人口が転入しました。
- 当初、習志野市の海岸線は、現在の国道 14 号線際でしたが、首都圏の人工急増などを背景に、昭和 40 年代・1960 年代後半と、昭和 50 年代・1970 年代後半の 2 回にわたり、国や千葉県によって海岸の埋め立て工事が行われ、最終的に市域が 1.5 倍に拡大し、人口が大きく増えました。
- 昭和 45 年には、人口急増に伴い、流入する様々な価値観が同時多発的に交錯することでまちづくりの目標を失うことがないよう「習志野市文教住宅都市憲章」が制定されました。現在もこの基本理念に従ってまちづくりを展開しています。
- この頃は人口増大に併せて、景気も上向きだったこともあり、様々な公共施設が一斉に建設された時期でもありました。休館に入っている習志野文化ホールが完成したのもこの頃です。
- 昭和 60 年・1985 年以降は完成された都市をどのように成熟させていくか、少子化高齢化、人口減少問

◆ 卓話

◆ 習志野市長 宮本泰介様



★最初の挨拶

- 習志野市長の宮本泰介です。
- 皆様におかれましては、いつもご支援をいただきありがとうございます。

★習志野の歴史について

- 令和 6 年 8 月 1 日に習志野市の市制施行日で 70 周年を迎えました。習志野市のこれまでにについて簡単にご紹介いたします。
- 習志野市の位置は東京湾の入り口から最も奥に位置しており、その広く平らな地形は、馬が駆け回るのに適していたこともあり、明治 6 年・1873 年に軍事演習が実施され、それをご覧になった明治天皇により「習志野原」と命名されました。
- この頃から今の習志野市の姿が鮮明に浮かび出てきます。明治政府により、それまでの自然発生的な集落を「自治体」として整備していく「市制・町村制」が施行され、明治 22 年・1889 年に「津田沼村」となりました。その後習志野原の演習場周辺には多くの軍事系施設が設置され、特に大久保は、当時開業したばかりの今の JR 津田沼駅周辺までの区域が、全国から集まってきた多くの人によって栄えていきました。その後の人工増加により、明治 36 年・1903 年には「津田沼町」になりました。
- そして昭和に入り、隆盛を極める近代日本の中、

題も提起され始め、これらの問題に対応すべく、ソフト面に力が注がれました。近年では、平成25年2013年にJR津田沼駅南口周辺に「奏の杜」が誕生し、コンパクトで結束力のある町として発展し続けています。

★70周年の振り返り

- そのような歴史を経て、昨年8月1日に習志野市制施行70周年を迎えました。
- キャッチフレーズである「演奏（かなで）よう未来へ70th」には、これまで先人たちが築き上げてきた習志野市の歴史と魅力を未来へつなげていくために「音楽のまち習志野」らしく、多くの人で音楽を演奏（かなで）るオーケストラのように、一致団結して70周年を盛り上げていくという思いがあります。その中で、様々な記念事業を実施しました。
- 7月には「子ども議会」を市議会さながらに開催しました。「中学校の部活動の選択肢」や「ボール遊び等ができる場所の確保」など、子どもたちの視点ならではの質問のほか「習志野市の人口増加に対する政策」といった市全体を俯瞰する質問まで、様々な角度で鋭い質問をいただきました。子どもたちからの意見はしっかり受け止め、今後の市政運営に反映してまいります。
- 8月には「市制施行50周年時に埋設したタイムカプセルを開封」し、過去と未来をつなぎました。習志野市企業局のガス管で密封された中身は、当時の状態のまま保存されており、未来の子どもに向けた愛情あるメッセージに私も感動しました。
- 10月15日から12月15日の2か月間は、デジタルスタンプラリーを実施しました。市内の魅力ある10カ所のスポットでポイントを貯め、貯めたポイントの数で賞品に応募していただきました。賞品はウッドパズルやTシャツ、帽子やポーチなど、全て70周年の限定デザインとしました。
- 10月26日には東京ベイ幕張ホールで記念式典を行いました。式典ではナラシドのお友達として飛来してきたピンク色の「ソラシノ」、市章を用いた「習志野和柄」、習志野高校美術部の皆さんがデザインした「デザインマンホール」などを発表し、市民に親しまれる新しいデザインやキャラクターも誕生しました。
- 11月2日から11月8日の1週間、モリシア津田沼内センターコートで「誰でもピアノ演奏」を行いました。自由に弾けるピアノを1台設置し、お買い物に来た家族から、空き時間を過ごす方、情報を聞きつけてわざわざ演奏に来てくれた方まで、7日間で200名以上の方にお越しいただき、ピアノに触れていただきました。
- 11月23日（土）・24日（日）の2日間は、茜浜・公園エリアにて花火大会が開催されました。このイベントは「ファイヤーワークス」という花火イベント会社を中心に企画され、市としては会場の提供と、各種行政手続きをアドバイスする等の特別後援という形で

協力しました。両日ともに寒い夜でしたが、想定された北寄りの風で花火が色鮮やかに見えました。24日には習志野高校吹奏楽部の皆さんが特別出演し演奏に合わせて花火が揚がる演出もありました。

- 12月8日には、秋津にある第一カッター球場にて「ドリームベースボール」を開催しました。元プロ野球選手をお招きして、子どもたちへの野球教室、そして習志野市選抜が元プロ野球選手に挑む「ドリーム・ゲーム」が行われ、1対0で見事習志野市選抜が勝利しました。
- そのほかにも、コミュニティバス（パッピーバス・ナラシドバス）のフロント部に、70周年記念のロゴマークなどを掲げたバスマスク、市内の小・中学校、高校を空撮し、航空写真集の作成などたくさんの記念事業を実施しました。

★今後の習志野市

- まちづくりは常に進化を続けています。「あらゆる循環を想定する新時代」に対応し、本市のまちづくりの基本理念のもと、これからも市民の皆さまと共に、持続可能なまちづくりを進めていく所存です。
- では「あらゆる循環」とは何であるかを考えると、
- 今年4月1日には新たに藤崎こども園が開園します。地代に合わせて保育ニーズに対応するための「こども園整備」をこれまで進めてきましたが、この開園により、市内7つの中学校に整備をする計画が完了します。
- 習志野市の表玄関であるJR津田沼駅の南口は再開発が進みます。令和7年は商業施設モリシア津田沼の営業が3月30日を以て終了します。都市計画に基づいた、より具体的な事業計画を野村不動産株式会社が立案し、音楽のまち習志野のシンボルとしてふさわしいパイプオルガンを備えた文化ホールの再建設や駅前広場の再設備と緑豊かでのぎわいのある駅前空間を創出する事業が本格化しています。
- 引き続き、将来に亘り、市民の皆様が誇れる本市の玄関として、本事業を目指し取り組んでまいります。
- 鷺沼地区で進行中の鷺沼特定土地区画整理事業は、2028年・令和10年度末の「まち開き」に向けて、電線共同溝などのライフラインの工事が本格的に始まる予定で、街の区画が目に見えるようになります。また、地区内に移転する計画の「鷺沼小学校」の設計に着手します。
- また、この鷺沼の区画整理や都市計画道路の設備が進む中で、交通網が整理されていきます。東西だけでなく南北の交通の便もさらに高まっていきます。
- 操業から20年を越えた現在の芝園清掃工場は、操業から30年を迎える2032年・令和14年からの新たな清掃工場の稼働に向け、現在工場の骨子のなる計画の策定や建設に向けて必要な諸手続きを進めます。
- これだけではありませんが、まちづくりは常に循環を伴っています。
- これまでの習志野市は「魅力的なまちだね」と誇れる姿ではありますが、ただそれで終わりではなく、移り

ゆく社会情勢や人々のニーズ、SDGsなどの「あらゆる循環」に対応したまちづくりをしていく必要があります。

- ・そして、まちづくりの基本的な考え方や方向性を表したものが「基本構想」です。
- ・現在の基本構想が最終年度を迎えるにあたり、来年4月から始まる新たな基本構想を年内に完成させます。
- ・先ほどの「あらゆる循環」を踏まえて、目標年次を令和23(2041)年度末、計画期間を16年間とし、策定に取り組んでまいります。

★新年の結びの挨拶

- ・まちづくりの主役は、いつでも市民の皆様です。
- ・将来へ向けて更なる豊かさを育み、さらに充実した平和な暮らしの確立に向け、また、「未来のために～みんながやさしさでつながるまち習志野～」を目指し、新たな将来都市像に向けて、本市の「新密度」と「結束力」を活かしたまちづくりを進めてまいります。
- ・引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げるとともに、皆様にとりまして、本年が健やかで実り多き年となりますことを、お祈り申し上げ、私からの御挨拶といたします。

◆ 出席委員会 芦澤直太郎委員

会員数	当日出席	メイクアップ	出席免除	出席	欠席	出席率
46	28	0	0	28	18	60.87%